

正 誤 表

履修の手引き 2016 年度生用
<健康科学部 版>

頁	事項1	事項2	訂正内容
7	I 学籍番号	入学年度	15を16に修正
8	IV 卒業	差替	【1】の内容に変更
8	V 学籍に関する異動 (2)休学・復学	末尾	【2】を末尾追加
13	III卒業に必要な単位	心理学科	①専門分野の合計を 88 単位に修正 ②選択必修科目の合計を 73 単位に修正
9～10	II単位の修得について ③技能審査・検定等に合格した場合の単位認定	●単位認定可能な技能審査・検定	【表A】に変更
12	(4)インターンシップの単位認定	説明文の追記	【表B】を追加
14	IV 修学指導について	制度説明文の変更	【3】の内容に変更
18	V 欠席	説明文の追記、修正	【4】の内容に変更
20	VIII 試験に関する注意事項について	末尾	末尾に別紙【5】の文章追加
21	I 成績評価	制度説明文の訂正	【6】の内容に変更
21	履修辞退	制度説明文への追記	【7】のとおり訂正
21	II 履修辞退 (1)申請理由	③	①インターンシップの後に「*」追加 ②末尾に別紙【8】の文章追加
22	II 履修辞退 (5)申請書類	④追加	提出書類③の下に別紙【9】の文章追加
34	心理学科 カリキュラム表	基礎分野 選択必修科目	誤:文化コミュニケーション論 正:異文化コミュニケーション論
34	心理学科 カリキュラム表	基礎分野 選択必修科目 区分名称	誤:キャリア関連科目 正:キャリア科目
34	心理学科 カリキュラム表	基礎分野 選択必修科目	情報処理応用演習 I II 誤:キャリア科目 正:基礎科目
34	心理学科 カリキュラム表	基礎分野 選択必修科目	キャリア科目に以下を追加 キャリア開発研究 I 2単位 3回生～ キャリア開発研究 II 2単位 3回生～
35	VII カリキュラム表	専門分野必修科目 1回生	「心理学基礎研究 I」と「心理学基礎研究 II」を2回生に移動
35	VII カリキュラム表	専門分野選択必修科目	【行動科学領域履修モデル】を 【行動神経科学領域履修モデル】に修正

頁	事項1	事項2	訂正内容
37	心理学科 カリキュラム表	専門分野 選択必修科目	以下の科目を追加 「環境心理学」2単位 3回生～
37	VII カリキュラム表	専門科目共通領域	「心理学基礎演習Ⅰ」と「心理学基礎演習Ⅱ」をそれぞれ「心理学基礎研究Ⅰ」と「心理学基礎研究Ⅱ」に修正
38	VII カリキュラム表	「卒業に必要な単位数」欄	以下の文章に差替 【専門分野】より 必修科目42単位 選択必修科目46単位の計88単位を修得
47	教職課程 教科：公民<健康科学部 心理学科>(表5)	「本学基準単位」欄の単位数の訂正	「社会学、経済学(国際経済を含む)」 誤：14単位 正：8単位 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 誤：2単位 正：16単位
52	V 社会調査士とは	社会調査士取得に必要な本学開講科目表科目記号A	社会調査法※現代マネジメント学科科目を社会調査法(社会心理調査)に修正
91	専門分野 必修科目	1回生	「救急救命実習Ⅰ」と「救急医学総論Ⅱ(救急医療体制①)」の科目名入替
131	京都橋大学 学費納付金規定	救急救命学科 2年次以降の納付金について	別紙【表C】のとおり修正

【1】

4年以上在学し、所定の要件にそって必要な単位を修得した場合、卒業となり、心理学科は学士（心理学）、理学療法学科は学士（理学療法学）、救急救命学科は学士（救急救命学）の学位が与えられます。また、4年以上在学し、前期 Semester で卒業に必要な単位を修得した場合には、前期末日である9月20日での卒業となります。

【2】

復学する場合は、復学願と必要書類を学務各課へ提出してください。休学事由が病気による場合は、診断書の提出が必要です。

【3】

本学では、クラスアドバイザー等から日常的に面談などにより修学指導を実施しています。

(1) 出席状況等による修学指導

授業への出席状況により以下の修学指導を実施します。

ア 1回生前期(4週終了時点)

新入生セミナーの参加状況等から判断される支援対象者

- ① クラスアドバイザーおよび学務課担当者による面談などの修学支援

イ 1回生前期(7週終了時点)

アに該当しない学生のうち、7週目までの出席率が60%を下回る学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

ウ 1回生後期

各期第7週目終了時点での出席率が60%を下回る学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

エ 2回生時

各期第7週目終了時点での出席率が60%未満かつ直前期のGPAが2.0未満の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

オ 3回生時

各期第7週目終了時点での出席率が34%未満の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

(2) 単位の修得状況による修学指導

単位の修得状況により、以下の修学指導を実施します。

ア 1回生前期終了時

当該期の修得単位が15単位未満(または当該期のGPA1.0未満)の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導
- ② 父母宛指導依頼書の発行(学科主任名)

イ 1回生後期終了時

当該期の修得単位が15単位未満(または当該期のGPA1.0未満)の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導
- ② 父母宛指導依頼書の発行(学科主任名)

ウ 2回生前期終了時

当該期の修得単位が15単位未満(または当該期のGPA1.0未満)の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導
- ② 父母宛指導依頼書の発行(学科主任名)

エ 2回生後期終了時

当該期の修得単位が15単位未満(または当該期のGPA1.0未満)の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導
- ② 父母宛指導依頼書の発行(学科主任名)

オ 4回生前期

受講登録後の卒業見込み判定における、判定が不可の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

カ 4回生後期

前期成績確定後の卒業見込み判定における、判定が不可の学生

- ① クラスアドバイザーによる面談などの修学指導

(3) その他

- ・ これらの修学指導は、教務委員会や学生部委員会で審議し特別な事情がある場合を除いて、各学科において実施します。
- ・ 学科により、この修学指導と学科別の履修条件を組み合わせることもあります。
- ・ 学科により、上記の修学指導の基準以外で、学力・修学態度等により必要と判断された場合には、修学指導が実施される場合があります。

【4】

本学では、単位制度の考え方にに基づき、授業はすべて受けることを前提とし、欠席した分の学修は自分で進めることを基本としています。やむを得ず授業を欠席する(した)場合は、自分の意志でその理由等について「欠席連絡票」を用いて担当教員に報告し、指導を受けてください。

- ※ 欠席の取り扱いは科目によって異なります。
- ※ わずかな欠席でも単位修得が認められない科目もあります(シラバス参照)。
- ※ 「欠席連絡票」は、事由の発生前または発後すみやかに担当教員へ申告してください。

【5】

試験の受験にあたっては、不正行為はもちろんのこと、不正行為と誤解を招く行為についても十分注意してください。

不正行為を疑われる行為の一例

- ・持込を許可されていないものを机の上に置く。
- ・机上や衣服、身体等へ書き込みをする。
- ・試験中に携帯電話(スマートフォン)を扱う。
- ・試験中に私語をしたり、物品の貸し借りをしたりする。
- ・試験中に携帯電話(スマートフォン)や答案用紙を試験教室外に持ち出す。
- ・他人の答案を覗き見るような、不審な行動をとる。
- ・試験終了後から答案回収までの間に、筆記用具を持つ。また、答案の見せ合いや交換をする。
- ・試験監督の指示に従わない。

【6】

(1) 成績は、点数により評価する科目と、合否のみで判定し合格すれば単位が認められる科目の2種類の評価方法があります。評点は100点満点で、60点以上が合格で単位が認められます。59点以下の科目は不合格であり単位は認められません。

なお、成績評価の基準は「試験・レポート*1」「小テスト*2」「授業中課題*3」「授業中発表等」「参加度」などがあります。それ

ぞれの科目における成績評価の基準は、シラバスに記載されていますので参考にしてください。

*1「試験・レポート」・・・授業のまとめとして実施するテスト・レポート

*2「小テスト」・・・授業中、適宜実施される小テストなど

*3「授業中課題」・・・授業中、担当者の指示により提出を求められる課題、小レポート、コミュニケーションペーパーなど

【7】

II 履修辞退

履修の途中で、履修を継続できない特別の理由が生じた場合、下記の条件で履修辞退を認めることがあります。許可された場合は、受講登録科目は、「履修辞退」扱いとなり、「成績通知書」には「W」と表示されます。「履修辞退」科目は、G.P.A.の計算対象外となります。履修辞退が許可された場合、辞退した科目の単位数に相当する分の科目を受講登録訂正期間に追加登録することができます。

「履修辞退」の申請要領は、下記のとおりです。(以下、省略)

【8】

* 公募型インターンシップにより履修辞退を希望する場合は「理由書」の提出が必要です。

【9】

④公募型インターンシップの場合は「理由書」(様式自由。
そのインターンシップに参加したい理由、その日程でなければならない理由を記載すること。)

【表A】

・ 語学関係(英語)

対象	級位・スコア等	認定単位数	認定科目名
実用英語技能検定(英検)	準1級～	8	英語ⅠA
TOEIC (IP 除く)	600～649	2	英語ⅠB
	650～699	4	英語ⅡA
	700～	8	英語ⅡB
TOEFL iBT	72～	8	英語ⅢA
			英語ⅢB
国連英検	A級	8	英語ⅣA
IELTS	5.5～	8	英語ⅣB

※ 心理学科については、「English Communication I～Ⅲ」および「English Literacy I～Ⅲ」にそれぞれ読み替える。

・ 語学関係(第二外国語)

対象	級位・スコア等	認定単位数	認定科目
漢語水平考試(HSK)	1級	1	中国語Ⅰ
	2級	2	中国語Ⅰ・Ⅱ
	3級～	6	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
中国語検定試験(中検)	準4級	2	中国語Ⅰ・Ⅱ
	4級～	6	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
韓国語能力試験(TOPIK)	1級	2	韓国語Ⅰ
	2級	4	韓国語Ⅰ・Ⅱ
	3級～	8	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
「ハングル」能力検定試験(ハン検)	5級	2	韓国語Ⅰ
	4級	4	韓国語Ⅰ・Ⅱ
	3級～	8	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実用フランス語技能検定試験(仏検)	5級	2	フランス語Ⅰ
	4級～	4	フランス語Ⅰ・Ⅱ
ドイツ語技能検定試験(独検)	5級	2	ドイツ語Ⅰ
	4級～	4	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ

・ 数学関係

対象	級位・スコア等	認定単位数	認定科目名(新)
実用数学技能検定(数検)	2級	2	数学演習 I
	準1級～	4	数学演習 I・II

※ 心理学科は認定対象外とする

・ 情報処理技術関係

対象	級位・スコア等	認定単位数	認定科目名
Microsoft(OfficeSpecialist 検定 Word/Excel/PowerPoint)	-	各 1	◆ 心理学科 ・ 情報処理演習 I・II ・ 情報処理応用演習 I・II ◆ 理学療法学科 ◆ 救急救命学科 ・ 情報処理演習 I ・ 情報処理演習 II ・ 情報処理演習 III ・ 情報処理演習 IV ・ 情報処理演習 V ・ 情報処理演習 VI
Microsoft Office Expert 検定 Word/Excel	-	各 1	
日商 PC 検定試験 (データ活用)/(文書作成)	3 級	1	
	2 級～	2	
情報検定 情報活用試験	2 級	2	
	1 級	4	
ICT プロフィシエンシー検定試験(P 検)	準 2 級	1	
	1 級	2	
NTT コミュニケーションズ インターネット検定.com Master ADVANCE	★	1	
	★★	2	
情報セキュリティスペシャリスト試験	-	4	
IT パスポート試験	-	4	
検索技術者検定	3 級	1	

【表 B】

(4) インターンシップの単位認定【2017年度実施分から】

在学中に「本学主催のインターンシップ・プログラム」または「大学コンソーシアム京都主催のインターンシップ・プログラム」を修了した場合、本学における授業科目により修得した単位として認定が可能です。単位が認定されると、成績通知書、成績証明書には「N」と表示されます。

単位認定を希望する者は、所定の手続きを行ってください。

- ・ 認定の範囲 本学主催 インターンシップ・プログラム、大学コンソーシアム京都主催 インターンシップ・プログラム

※ ただし、両方のプログラムの単位認定を申請することはできません。

- ・ 認定の条件 インターンシップ・プログラム修了認定を受けた者であること。
所定の手続きにもとづき、認定申請を行った者であること。

・ 認定の方法

下表のとおり

- ・ 申請方法 提出書類 単位認定申請書（所定様式）
インターンシップ・プログラム修了証（写し）
- 提出期限 11月中旬（インターンシップ・プログラム実施前ガイダンスにて指定します。）
- 提出先 キャリアセンター

◆ 健康科学部心理学科

プログラム	認定単位数	分野	認定科目	成績評価
① 本学主催インターンシップ				
（民間企業等）	2	随意科目	キャリア開発演習Ⅱ	N
（図書館司書）	2	随意科目	インターンシップB	N
（行政）	2	随意科目	インターンシップC	N
（NGO・NPO）	2	随意科目	インターンシップD	N
② 大学コンソーシアム京都インターンシップ	2	随意科目	キャリア開発演習Ⅱ	N

※ 本認定は、2017年度に実施のインターンシッププログラムから適用する。

【表C】

区 分	入学金	授業料	教育充実費	実験実習料	合計
前 期	—	472,000	135,000	75,000	682,000
後 期	—	472,000	135,000	75,000	682,000
合計額	—	944,000	270,000	150,000	1,364,000